埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟
機関紙：発行責任者　武笠真次
編集　小松勝浩
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階
TEL・FAX　048-838-0640
http://www.tozans.justhpbs.jp/

★☆★名称募集のお知らせ★☆★
電子版機関紙の名称を募集しています。
是非良い名称を御願いします。
応募は e-mail：tozan_g@art-axis.com まで「名称」・氏名・所属会名を記入して送信下さい。後日理事会にて検討後発表します。採用しました名称の提案者には粗品を進呈します。

電子版

2号目次

第46期　第1回評議会

第46期第１回評議会が6月16日（日）に浦和コミュニティセンター9F第15集会室にて開催されました。報告･･P17



第16回　遭難防止・安全教育担当者会議が開催されました。

第16回　遭難防止・安全教育担当者会議報告　教育遭難対策担当　尾手利雪
日　時・2013年6月16日（日）午前９時受付　９時30分開催～11時30分閉会
場　所・武蔵浦和コミュニティセンター　８階　第２会議室
参加団体・峠山の会、大宮労山、飯能労山、三郷山の会、山なみハイキングクラブ、新座山の会、橡山岳会、北本山の会、ハイジアルペンクラブ、わらび山の会、熊谷トレッキング、彩の山友会　（１２団体）出席者・２１人



武笠理事長挨拶　県連盟の諸活動へのご協力に感謝申し上げます
井芹昌二氏（埼玉県連救助隊顧問）紹介
黙祷　　去る５月１８日　県連盟副理事長・県連盟救助隊隊長・大宮勤労者山岳会会長　徳重博文氏が逝去されました。長年にわたり、遭難防止・安全教育担当者会議を支えて頂き発展に大きく貢献され本当に有難う御座いました。お礼と共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。
議　題　１）事故事例と対策　　（埼玉県連救助隊顧問　井芹　昌二）
第９回事故調査報告書より（別資料）転倒と滑落の時刻別分布、死亡者の事故原因分布、事故の原因、事故者年齢分布、過去10年の事故の推移、年代別・男女別事故者の状況、等2003年3月～2012年12月埼玉県連盟内事故の概要２）ヒヤリハット事例の検討（別資料）イ・ハイキングでの事例　ロ・縦走中での事例　ハ・沢での事例、その他　「登山学校での学習」・「救助隊での学習」問い合わせ、各委員会まで　　記録　若木

県連の動き

委員会活動報告

全国連盟活動

ハイキング基金について6／25現在17件の申請あり。基準コースタイムは、昭文社での5時間以内が規定です。

県連全体活動

10/20予定の安全登山講演会の講師　まだ未定です。宮城県連から7/22～23日富士登山

財　政

連盟加盟費がまだ入金されてない加盟団体が数件有ります至急入金下さい

機 関 紙

7/10　電子版第２号ホームページに掲載。

ホームページ

6/12　救助隊第2回役員会及び5／12訓練報告
6/12　新機関紙　電子版発刊
6/15　ハイキング委員会活動予定報告
6/18　放射線量測定（西部ブロック6/12現在）
　　　旧足尾銅山「春の植樹デー」参加に関する資料4/28
　　　県連クリーンハイク集計表　5/26実施
6/19　岩つばめHP更新

女　性

10月12-13日東日本登山交流集会について
7／1北朝霞ジョナサンでPM7:00 より打ち合わせ
登山時報7月号参照

ハイキング

6／26中止　県連ハイキングとして改定版ハイキングABC別紙P10参照。
30部注文する

自然保護

2013年度埼玉労山クリーンハイク集計表--別紙P4,P11参照
H25年旧足尾銅山「春の植樹デー」参加に関する資料--別紙P12参照
放射線量測定一覧　(埼玉労山西部B・新座山の会測定）--別紙P10参照

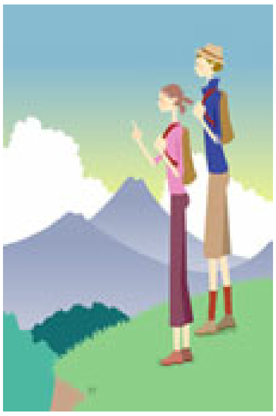
海　外

各会に海外に行く会員の計画書　全国宛と県連事務所木村宛送付

委員会活動報告

遭難防止・安全教育

6月16日AM9:30～11：30武蔵浦和コミセンにて開催詳しくは別紙報告参照



救　助　隊

第2回役員会及び5／12訓練参加報告。沢の訓練　7／4机上　7／20実技
救助隊訓練山行参加報告‥P13掲載
役員会報告P14掲載‥P14掲載

登山学校

計画から下山まで　6／8机上　6／9実技大平山。参加者：受講者　29名
運営委員10名　計39名　‥P5.6.7.8掲載
登山と運動生理7／6机上・屋上(体力測定)7／7実技　那須茶臼岳

岩ネット

6月15日の「岩ネット」参加人員です。
新座×5、所ハイ×1、わらび×1、飯能×1、つるばみ×1、彩の山×3の12名でした。次回は7月13日（土）開催予定です。

ブロック活動報告

西部=ブロック会議　6／13　11月の交流ハイキングの打ち合わせ。

加盟団体活動報告

総会情報：6／30　大宮労山
総会新座山の会20年記念登山第2弾マレーシア半島キナバル山‥P15.16に続く

県連からお知らせ
★東日本大震災支援計画★予告

埼玉県連として下記の日程で東日本大震災支援活動を検討しています。
日程は10月19日（土）～20日（日）（牡鹿半島谷川浜・牡蠣養殖手伝い）
　来年3月15日（土）～16日（日）（牡鹿半島谷川浜・ワカメ収穫手伝い）
＊　いずれも前夜発となります。
●交通費・食事は自前とします。●宿泊はテントを現場近くに設営します。
詳しい実施内容等決まり次第ＨＰ上で告知いたします。

ブロック活動報告　★クリーンハイク報告①・・南部ブロック

南部ブロックのクリーンハイクに参加して

平成２５年５月２６日（日）晴天の中毎年恒例のクリーンハイクが行われました。
北向地蔵～日和田山～巾着田とゴミを拾いながらの山歩きとなりました。
山道にはあまりゴミは無いようですが車道に接してる所に来ると一般の家庭ゴミが大量に持ち込まれており愕然としました。自分さえ良ければではなく一人ひとりがこれからの為にゴミに対する意識を変えていかなければと思いました。
なお、この日の参加者は総勢３７名。回収したゴミはびん８ｋｇ、かん５ｋｇ、不燃ゴミ１２．５ｋｇ、ペットボトル４ｋｇ、可燃ゴミ５ｋｇとなりました。
また、交流会ではそれぞれの会で用意した昼食をいろいろと頂きました。
その後、ザックを使ったセルフレスキュウ-法を学びました。普段あまり他の会の方と合同で行動することはないのでとても良い交流の機会となったと思いました。

三郷山の会　　　牛尾　厚子 記

山をきれいに クリーンハイク開催









・・・P11に続く

登山学校 ①

第18期登山学校第１回講座「計画から下山まで」に参加して

18期生　高林裕子　記

昨日実技が終わり忘れないうちにと書いています。
直前まで忙しく過ごしていたこともあり、この二日間とにかく疲れました。
ある程度の年齢になると初対面の人達と一緒に行動することへの適応力が著しく衰えてくることを痛感しました。でも初回ですから気を取り直していきましょう。
さて一日目は机上講義でした。講師の小松さんは経験もお話しも慣れておられ、配布された資料はわかりやすくまとまっていたのでわかりやすかったです。
うんうんとうなづいて再確認したりふーんそうかと初めて知ったりでした。
コース情報を集めるのに県警のホームページを確認することや、天気情報は日本気象協会のホームページが役に立ち、登山学校のホームページとリンクしていること、登山計画書の書き方、パーティ内の役割、パーティ行動中の注意、コンパスの振り方、特に登山中の基本フォーム、歩き始め登山中下山時の諸注意（すれ違い、休憩の取り方、水分補給、下りの事故など）は具体的な指摘が多く、なるほどということが多かったです。

二日目の実技は大平山でした。空梅雨だったこともあり好天で暑かったですが、両毛線の山は初めてでしたし不安と期待がまぜこぜでした。
初日に得たいろいろな知識を休憩時や立ち止まって再度教示されると、頭ではわかっていたことが目の前の課題になって現れ、それはそれでこなすのにエネルギーを使いました。
登山口まで里歩き、急登、下山道は石ころ道や杉や笹の落ち葉を踏みしめるふかふか道、杉林、竹林、点在する神社、寺、見晴所など次々に目の前に出てくる景色に飽きることがありませんでした。
下山後の一次会二次会に出ることができず残念ではありましたが、４０人の大パーティ、それも初対面が大半のグループをまとめて無事最初の山行を成功させた講師の方々のご苦労に頭が下がります。





登山学校 ②

第18期登山学校第１回講座「計画から下山まで」に参加して

18期生　山口雅彦記

6月8日(土)1300-1730　机上講義　　浦和ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ
8日、最初の本格的な講義が始まる。山に入るものとして基本中の基本のことと認識しているものの知らないこと、身についていないことを指導いただく。今回の講義内容は本日だけに限らず登山教室のすべての講義で身につけていくべきものとして理解した。登山計画書をそれぞれ作成したが、計画をたてることも登山の楽しみの一つであると思う。登山計画書の提出をしない割合が非常に多いが、あらかじめ計画書に落とすことによってリスクを予測することができ遭難や思わぬ事態を予防できることが極めて大切に感じた。いつも市販の地図に頼りきりになっているが自分で概念図を書くことで全体のイメージをあらかじめ自分のものにできると感じた。登山計画書を提出することは基本のこととして大切だが、計画することは楽しいことも事実。なんていったっていくら登っても計画では疲れません。

6月9日(日)　栃木県　晃石山ー太平山への実技登山
四班(それぞれ約7-8人)に分かれ、班長および副班長を決め初めての実技山行。梅雨の最中であるが快晴で気温も平地で30度近くまで上昇したようであるが、今回のコースは樹林のなかの山行でたいへん気持ちのよいものとなった。実技の中の基本の一つは「コンパスを振る」と言う行為。これまでにコンパスの使い方も知らなかった自分にとっては、目標地点が目視できないような状況においてコンパスで進路方向を確認したうえで歩き始めるということは安心感がわく。
また、コンパスが使って歩くと言うことが一味違ったテクニカルな登山の一面として楽しかったです。最初と最後は念入りなストレッチ、解けない靴紐の結び方、状況に合わせた歩き方などなど細かい的確な指導をいただきました。一生ものとしてしっかり見につけておきたいと思います。また、全員リズムよく歩かれるのにはびっくりしました。個人としては今年初めての山行で海外出張明けの時差ぼけもあり班の皆さんに迷惑をかけるのではないと心配しましたが何とかついていくことができました。今後なるべく休まずコンスタントに歩き続ける自分のペースを見つけたいと思います。
ゴールのセブンイレブンの駐車場で反省会の後の打ち上げ一次会も楽しかったです。初めてのメンバーで少し緊張気味の中楽しくいい汗をかくことができました。ありがとうございました。

晃石山-太平山　実技登山記録
2013年6月9日
18期四班　メンバー　(班長)綿貫　(副班長)長谷川　(メンバー)河合、和久津、内田、大関、(記録)山口　(担当運営委員)八木原、駒崎
集合　JR大平下駅　(0945)　－　大中寺　(1035/1053)　－　清水寺(1123/1140)　－　晃石神社(1230/1300)　－　晃石山(1310)　－　太平山(1405/1415)　－　謙信平(1445)　－　客人神社(1520)　－　セブンイレブン(1540)　－　大平下駅

登山学校 ③

第18期登山学校第１回講座「計画から下山まで」に参加して

18期生　寺田　亨　記

いよいよ全8回のうちの第1回目の講座が始まった。
机上講習は6月8日（土）浦和駅東口パルコ9階の15会議室とのことで、浦和方面に不慣れな私としては、場所探しで遭難しそうになりつつ、やっとたどりついた状況であった。
初回講座は「計画から下山まで」と題して行われた。
冒頭に、安全に楽しく登山を続けて行ける「登山力」を身に付けるのが目的とのことで、仲間で行く山登りの楽しさを体験し、この学校で山仲間を作ってくださいとの説明を頂いた。
きっと、楽しい出会いがあるであろうと、期待が高まる。
机上講習の内容は、山行計画の立て方から装備、計画書の重要性、パーティでの行動のしかた、コンパスの使い方、歩き方、給水、エネルギー補給、下山時の注意、他、盛り沢山の内容で、いまさらながら学ぶべきことが多いことに驚かされる。
テキストには、それらが具体的に説明されておりとてもわかりやすかった。
コンパスの使い方は、実際にやってみる時間が取られていて、あしたの実技の予習になり助かった。登山計画書も、作成の時間が取られていて、勉強になった。

翌日（6月9日）は、栃木県の大平山で実技が行われた。天気も良く、絶好のハイキング日和に、４班総勢３０名の受講生が参加して賑やかな山行となった。
登山道は良く整備されていて、涼しい木陰を歩くことが多く快適でした。わが班は女性３名、男性５名の構成でしたが、皆さん元気で最後まで楽しく、安全に登山が出来て良かったと思った。
多少急な登り下りもありましたが、先頭を歩いて頂いた副班長の小林さんのペースメーキングが上手く、伊藤先生、高野先生にも支えられ、歩くペースが最初から最後まで変わらず、快適な山行となった。
また、確か机上講習時の登山計画書作成演習では、計画には入っていなかったように思うが、下山後のコンビニ駐車場での１時会は楽しい思い出となった。





登山学校 ④

第18期登山学校第１回講座「計画から下山まで」に参加して

18期生　福島 秀佳　記

「机上講座」6月8日（土）午後1時～5時　場所・浦和パルコにて
18期生は総勢30名、本日数名の欠席があったが、出席者は全員この1年間で登山の基礎を身に付けるべく、真剣に小松講師の講義に耳を傾けた。
講義は資料「計画から下山まで」とスライド画面に沿って行われた。講義内容は、計画準備編では山を選ぶ、体調管理、装備を調える、プランをたてる、計画書の提出等の講義があった。この中で、登山の事故を極力減らすためには、登山の準備、計画書の作成・提出の大事さを知った。
その後、山登りをする時の注意（装備、パーティの役割、コンパスの振り方、登山中の基本フォーム、すれ違い時のマナー、水分・エネルギー補給方法、下山時の注意）等の講義を受けた。
この中では、コンパスの振り方を実際にやってみた。振り方は分るが、理屈が理解できない。今後、実地で体得していくこととしたい。
その後、翌日の登山実技に向けて四班に分かれ、担当運営委員2名の指導のもと、登山計画書の作成、班の役割（リーダー、サブリーダー、記録係、報告書作成係）を決めた。
翌日の集合場所の確認も行い、後は登山実技を待つばかり。

「登山実技」　6月9日（日）　栃木県・大平山登山（341m）　晴れ
大宮駅8時10分集合、宇都宮線小山駅下車、両毛線に乗り換え大平下駅9時43分着。東武日光線を利用した人とも無事合流し、運営委員より本日のスケジュール、登山内容の説明を受け、班毎に前日決めた役割に沿って、9時53分に駅を出発。
コンパスも昨日の講義どおり振ってみた。できた、ほっとした。
その後もキーポイントでコンパスを振ることを実施した。両毛線の線路を渡り大中寺に向かう。30分の行程は平坦で、山登りの体になるためのよいウオーミングアップになるとのこと。
大中寺の木陰でストレッチを行う。10時50分出発し清水寺へ向かう。ここもほぼ平坦に近く30分の行程。途中所々で運営委員より、こまめに水分を取るようにと注意がある。清水寺に着いた後、運営委員より足裏全体での着地、登り下りでの足の使い方等の実地講習があった。11時37分に清水寺を出発し晃石神社・晃石山（419m）へ向かう。
標高差約300m、本日1番のきついところ。着いた先でのお昼ごはんを楽しみに頑張ろう。12時16分、途中休憩も入れず晃石神社に到着。結構きつい。班全員で昼食をとる。私は朝、自分で作った弁当を食べる、美味しい。いつかは、山での料理道具を揃えて、作って食べてみたい。13時に晃石神社を出発し、晃石山、大平山（341m）まで登り下りの行程が続く。謙信平を経て終点・解散地であるコンビニに15時10分に全員無事到着。その後ストレッチを行い、各班にて反省会を行う。反省会の中で運営委員より、登っている時、スピードが速くきつい時は、遠慮なく先頭の人に伝えてほしいとの注意があった。この登山学校のよいところは、運営指導員が多く、いつでも質問でき、問題解決できることであると感じた。　以上

雪山ネットワーク

4月20日～21日雪山ネットワーク・「八海山雪洞山行」に参加しました。10名の参加者で、車2台で大宮駅7時発、東松山ＩＣ（8時10分）＝関越道＝大和ＰＡ下車（10時5分）＝大倉山登山入口（11時20分）に到着した。共同装備を分担して、今回ワカンは、車においておくことにした。八海山神社里宮を通り夏道は通らず、直登していきます。思ったほど、雪量は少なく歩きにくい。進むに従い藪漕ぎとなる。壮絶なる入道沢の藪漕ぎに比べたら、十分の一の感覚であるが難儀ではある。１・２回ほど脚がつり気味であった。計画では四合目～尾根までの四合半の途中で雪洞を作る予定ではあるが、小雪が舞い降りてきた。時間的に、先に進んでも雪不足気味である。3時頃、ゾンデ捧で奥行と深さをはかり適した場所を探す。いろいろ試すが深さの関係で、屋根はタープ２張りとなる。雪洞には、スコップ・スノーソー・ブルーシートは必須である。スコップにも大小があり、小さすぎではあまり役に立たないと思っていたが、掘る作業には適している。経験しないと用具は分からないものである。大小の効率が良い。更にスノーソーで切れ込みを入れて、スコップで掘り起こしたとき、それほど力を入れずブロック状に崩せるので便利である。ブルーシートの安価品は薄く作業しづらい。雪が滑りにくい感じを受けた。最初の２ヶ所の出入り口を作り掘り出す。真中を残してそれからは奥行２ｍ×幅５ｍ×高さ２ｍの雪を搬出していく。２ヶ所の入口の床面にはブルーシート敷き詰めて掘り手の人がどんどん雪を落とし、ある程度積みあがるとシートを２・３人係りで引っ張りだして下へ落とす。雪山ネットで２０代の若い渡辺さん(三郷山の会)の雪かきの勢いには目を見張ものがある。勢いがあり若さは素晴らしい。



圧倒されます。更に本人用の雪洞もおまけに作ってしまう。床を整地して更に壁面は水滴が落ちないよう平滑に調整する。ローソクの明かりを体験したく、奥に掘り込み棚を作りました。ゾンデ捧４本で梁を作りタープ２張りで、屋根を作り、仕上げに２ヶ所の内１ヶ所は、ブロックで埋戻しで入口は１ヶ所にして雪洞は、５時半終了完成。掛かった時間は、約２時間くらいであった。小雨・雪で気温も下がり、雨具がゴアテックス製でないため汗が溜まり、寒さと力仕事で疲労困ぱいである。取りあえず全員揃ったところで、恒例のビールで乾杯。今回１本で押える気持ちでコンビニに入るが、参加者の購入本数を見てしまい。乾杯の儀式用と、雪洞の完成祝い用と２本屁理屈をつけて購入した。しかし雪洞の中でのビールは喉越しにはよいが、後から身体が冷えてくる。そんな中、雪山ネットの参加者福山さん(飯能労山)が持参した「芋焼酎・黒霧嶋」のボトルが目に入る。嗚呼・・・又飲んでしまう。夕食は元祖羽竜流炊飯米の牛丼で美味しくいただけました。雪を溶かしての水作りしながら、お酒も飲みながら、歓談しながら時間が経過して十時半になってしまった。消灯となりシュラフは冬用不用の情報で、３シーズン用とシュラフカバーで可能ことであったが参加者のシュラフを見て失敗したかとも思うが、寒さはそんなに感じなかった。　翌日は4時起床である。外は寒い。雪は10ｃｍの積雪となる。お茶を沸かし、朝食の生ラーメンで身体が温まる。薬師岳（1653m）の計画であるが、雨・雪の悪天候で中止となる。下山は夏道が使用可能で助かる。しかし雨模様で身体が冷えた。駐車場で早々に着替えて、温泉（390円）に直行し、生ビールと美味しい食事をして大宮へ。今回は想像していた完全な雪洞ではないものの十人分の面積を掘り出す作業並びに、用具と作業工程を体験したことは大変有意義である。参加出来て、大いに参考になった。しかし、又体力不足の課題がでてきた。　　大宮労山　小川銑治記



全国連盟活動

『ハイキングABC』改訂版発行

全国ハイキング委員会発行の冊子「ハイキングABC」初心者向けテキストが10年ぶりに改編されました。注文を直接されても良いですし、ブロック委員会、定例会などで理事、役員の方から見本をみて頂き役員を通して金銭の授受が可能でしたらハイキング委員会で注文お受け致します。

30部以上　1冊250円　以下は300円です。受け付けは7月中旬～となります。（見本は7月末～）
＊注文ですが　加盟団体名、担当者名、冊数、金額、を明記の上下記担当までお申し込み下さい。
県連ハイキング委員会（全国ハイキング委員）
担当　佐藤久子：xdwgc135@ybb.ne.jp



自然保護

放射線量測定一覧 (埼玉労山西部B・新座山の会測定)　　2013/6/12

	山　名	標 高	測定日	頂上線量	最高値		標 高	中間値		標 高	最低値		標 高
1	御岳山	930	2012/6/10	0.062	0.090	つるつる温泉	400				0.035	日の出山頂	902
1	御岳山	930	2012/2/12	0.148	0.084	大楢峠	720	0.073	海沢川岸	550	0.054	大塚山	920
2	三頭山	1970	2012/8/25	0.069	0.100	大高山樹林帯	1800	0.090	野反湖P		0.060	カモシカ平	1800
3	棒ノ嶺	969	2012/9/9	0.030	0.077	さわらびの湯	254	0.060	林道交差東屋	670	0.050	権次入峠	893
4	雲取山	2017	2012/10/7~8	0.051	0.122	三条ダルミ	1100	0.109	塩沢橋	750	0.078	片倉谷ゲート	600
4	雲取山	2017	2013/3/9~10	0.034	0.088	鴨沢	550	0.070	大ダワ付近	1750	0.027	白岩山	1921
6	栗駒山	1627	2012/10/10	0.028	0.056	イワカガミ平	1250	0.045	展望台	1160	0.040	栗駒登山口	1540
7	平標山の家	1660	2012/10/14	0.093	0.135	三国峠	1244	0.113	平標登山口	1000	0.112	三国峠越後口	1090
8	日光白根山	2570	2012/7/8	0.065	0.086	丸沼ロープウエーP	1800	0.070	森林限界	2400	0.040	ロープウエー上	2000
9	赤城黒桧山	1825	2012/1/29	0.036	0.099	黒桧山登山口	1300	0.071	大沼湖畔P	1300	0.070	駒ケ岳	1680
10	蕨山	1033	2012/6/24	0.070	0.132	妻坂峠	839	0.086	蕨山山頂手前	980	0.070	名郷バス停	300
11	大持山	1294	〃	0.071	0.071	山頂手前	1294						
12	武川岳	1051	〃	0.103	0.103	山頂草叢	1051						
13	藤坂ロックガーデン	150	2012/7/1	0.070									
14	陣馬山	857	2012/11/3	0.039	0.113	小仏バス停	290	0.079	舗装路分岐	310	0.038	景信山山頂	730
15	物見山	375	2012/11/18	0.045	0.083	五常の滝	200	0.061	武蔵横手駅	114	0.031	日和田山頂	305
16	大菩薩嶺	2057	2012/12/2	0.069	0.085	大菩薩峠	1900	0.050	福ちゃん荘	1730	0.034	ロッジ長兵衛	1530
17	浅間尾根	903	2012/12/16	0.091	0.082	浅間尾根口	610	0.066	人里分岐	860	0.045	浅間休憩所	870
18	塔ノ岳	1490	2013/1/20	0.035	0.037	見晴らし小屋	600	0.029	大倉登山口	350	0.024	堀山付近	970
19	角田山(新潟)	481	2013/3/23	0.047	0.060	ジョンビ登山口	100						
20	伊豆が岳	851	2013/5/1	0.038	0.056	五輪山	715	0.050	正丸駅	301	0.043	馬頭分岐	450
21	鍋割山(赤城)	1332	2013/6/6	0.125	0.153	荒山高原	1260				0.072	姫ゆり駐車場	1033
22	荒山(赤城)	1572	〃	0.143									

＊　積雪は放射線を遮る性質があるので線量計まで届かない可能性があります。

自然保護

2013年度埼玉労山クリーンハイク集計表

実施日　2013年（H25）5月26日（日）　　埼玉県勤労者山岳連盟自然保護委員会

	所属会名	人数	ハ イ キ ン グ コ ー ス	ゴミ収集量（kg）			不燃内訳(kg)	
				合　計	可 燃	不 燃	ペットボトル	ビン・缶
西部	飯能勤労者山岳会	7	横瀬駅→明智寺→法長寺→ト雲寺→日向山→芦ヶ久保駅	1.87	0.65	1.22		
	新座山の会	18	正丸駅→伊豆が岳→正丸峠→正丸駅→芦ヶ久保駅	15.64	3.65	11.99		
	富士見市峠山の会	9	横瀬駅→ト雲寺→高原パーク→日向山→芦ヶ久保駅	4.17	1.69	2.48		
	上福岡やまなみﾊｲｷﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ	8	芦ヶ久保駅→大野峠→丸山→木の子茶屋→芦ヶ久保駅	0.94	0.79	0.15		
	所沢ハイキングクラブ	17	芦ヶ久保駅→丸山→芦ヶ久保駅	6.52	2.75	3.77		
	橡(ﾂﾙﾊﾞﾐ) 山岳会	1	西吾野駅→関八州→大野峠→芦ヶ久保	0.32	0.32	0		
	山遊会ビスターリ	8	芦ヶ久保→二子山→芦ヶ久保駅	1.86	1.06	0.8		
	埜歩歩富士見山の会	7	芦ヶ久保駅→果樹公園→丸山→芦ヶ久保駅	4.59	2.26	2.33		
	日和田アルパインクラブ	3	東吾野駅→アデラ岩場→顔振峠→（車）→芦ヶ久保駅	0.88	0.51	0.37		
	小　　計	78		36.79	13.68	23.11		
北部	熊谷トレッキング	12	白石農園キャンプ場→萩平T路地→笠山神社→白石農園キャンプ場				10.7	2.5
	深谷こまくさ（内こども７名）	14	〃					
	ハイキングクラブ上里	3	〃					
	秩父アルペンクラブ	4	〃					
	小　　計	33		26.7	13.5	13.2		
南部	彩の山友会	4	武蔵横手駅→北向き地蔵→物見山→日和田山→巾着田→高麗駅				4	13
	三郷山の会	15	〃					
	わらび山の会	13	〃					
	あすなろ山岳会	2	〃					
	芝ハイク	3	〃					
	小　　計	37		39.5	10	29.5		
中部	大宮勤労者山岳会	22						
	浦和くまざさ山岳会	8	越生駅→稲荷坂→大高取山→桂木観音→虚空蔵尊→医王寺→越生駅					
	北本山の会	8	越生駅→五大尊→西山高取→大高取山→桂木観音→虚空蔵尊→医王寺→越生駅					
	蓮田ハイジアルペンクラブ	5	越生駅→正法寺→西山高取→大高取山→桂木観音→虚空蔵尊→医王寺→越生駅					
	浦和山の会	5	越生駅→高取山西山高取→大高取山→桂木観音→虚空蔵尊→医王寺→越生駅					
	日進山岳会	3	（どの会がどのコースを歩いたかは未確認）					
	小　　計	51		14	6	8		
総　合　計		199		116.99	43.18	73.81	14.7	15.5

《総括》　　2013/6/18

- クリーンハイクをアピールするためゼッケンや腕章を付けた方が効果的。
- 日取りが地元の清掃日と重なるので変更できないか？
- 登山道にゴミは殆どないので他の企画はないか？

自然保護

2013年（H25）4月28日（日）旧足尾銅山「春の植樹デー」参加に関する資料

埼玉県勤労山岳者連盟・自然保護委員会　　2013/6/8集約

		予定	実際			予定	実際
	上福岡やまなみ	6	5		秩父ｱﾙﾍﾟﾝ	1	6
	山遊会ビスターリ	6	6		熊谷トレッキング	1	?
西	所沢ハイキング	9	8	北	ハイキング上里		
	埜歩歩富士見	6	5		深谷こまくさ		?
部	新座山の会	6	6	部	深谷山の子		
	富士見峠山の会	9	8				
B	日和田ｱﾙﾊﾟｲﾝｸﾗﾌﾞ			B			
	飯能勤労者山岳会		6				
	橡（つるばみ）山岳会						
	西部B合計		44				
	バス参加合計		40				
	県連参加総数		50				
	H24年参加数		71		合　計	2	6

		予定	実際			予定	実際
	ｱﾙﾊﾟｲﾝｸﾗﾌﾞNPO	1			三郷山の会	1	1
中	浦和くまざさ	1			わらび山の会	1	1
	大宮勤労者			南	あすなろ山岳会		
部	北本山の会				ﾞﾜｰﾙﾄﾞﾋﾟｰｸｽ		
	浦和こまくさ			部			
B	岩つばめ						
	ハイジｱﾙﾍﾟﾝ			B			
	日進山岳会						
	浦和山の会						
	ｱﾝｸﾗｸﾗｲﾑ						
	ほたか山遊						
	合　計	2	0		合　計	2	2

遭難防止・安全教育

参加者報告者　上福岡山なみハイキングクラブ　岩田　和

6月16日午前9時30分より武蔵浦和コミュニティセンター8Fにて、埼玉県連顧問である井芹昌二さんを迎えて開かれました。

１．第9回事故報告書から多くのグラフ表を使っての事故事例の話がなされました。もっとも事故の多発する時間は午前11時から14時までの間。事故の82.5%が滑落・転倒・墜落である。事故者の年齢分布は50～70歳が多く、男女別では女性の方が多い。形態別では無雪期登山41%、積雪期登山18%、登攀12%、沢登り12%、山スキー7%など、月間別では1月・5月・7月・8月が多い。全国で比較すると埼玉県は10位。　2003年3月から2012年12月まで10年間の埼玉県連盟内事故の概要では50代，60代の女性が最多。原因別事故者数は最も多いのは転倒である。過去2年間の死亡事故2011年4月から今日までに全国で23名の死亡事故が発生しており、今年に入って既に7名である。労山内の会員も年齢が高くなっており、平均年齢は60代になっている。トレーニングにより体力はある程度維持できても防衛体力の低下は避けられない。最大のポイントは歩行時間である。雪中でのビバーグ体験や、救急法の学習も年に1回位では使えないのではないか。

井芹昌二さんの報告終了

２．千葉県連からのヒヤリハット事例の検討（6件）

〇「静荷重・正移動」という歩きの原則を忘れて転倒してしまった。

〇大人数パーティが道を譲らないため、脇を強引に下りようとして滑った。

〇怪我をしたときの事故一報は早めに。沢の下山途中に滑って突き指をした。たいした事ないだろうと自分で湿布を貼り放置。一ヶ月たっても腫れが引かないので医者に行ったらひびが入っていた。

〇トレーニングをしないで3泊4日のハードな山行に参加して足を痛める。

〇装備類をザックに入れる時には必ずチェックを入れるのを忘れてはいけない。

〇クライミング〔外岩〕時、ロワーダウンの手順を間違えいきなりメインロープをはずそうとしてしまった。

救　助　隊

救助隊訓練山行参加報告　5月12日(日)新座山の会救助隊員　久保典子記

前日の雨も止み、素晴らしい天気の下、救助隊の訓練研修が行われました。5時半、Y西部ﾌﾞﾛｯｸ長と共に妙義ﾛｯｸｶﾞｰﾃﾞﾝに行く。途中は素晴らしい新緑。8時半全員集合。初級の新人教育とかで、群馬県連が40人位集合してきた。埼玉県連は新人救助隊員が3名、ﾍﾞﾃﾗﾝが3名。ﾏﾝﾂｰﾏﾝに近い形で研修が行われた。現場に行くまでにヒルに歓迎され、まいった！

内容、①結びの基本。②1／3 システム引き上げ、引き下げ。③懸垂下降（支点の取り方・2 本のロープでの懸垂の仕方）。④システムに有効な器機の取り扱いかた。

実習の感想として、①の結びは、バタフライ結び・ラビット結びのメリット、デメリットを実習の中体験する。ラビットもバタフライも知っていたが、難しいやり方で覚えていたので、簡単に作る方法を教わり、目から鱗。確実に覚えた。フイックスロープを張り、バタフライで上る。支点の作り方を正確に指導され自分なりに出来るようになった。「久保さん最初に行きなさい」と隊長がチャンスをくれたのですが、いつもの悪い癖で、「かっこ悪いところは見せられない」という誘惑の声に負け、断ってしまい2 番手にまわった事を後悔している。それでも、支点を作り、ﾊﾞｯｸﾛｰﾌﾟも取れ、日和田の岩場で、間違いなく、自分ひとりで作れる自信がついた。②について、自分の使用していた登攀器具が役に立った。「器具には必ず取扱説明書と、使用法が書いてあるからよく読め。そして、器具にある絵をよく見ろ。」とW登山学校で教わった言葉を思い出しつつ、「あわてない、試して違えば、反対方向にすげかえればいい。」と自分に言い聞かせ、繰り返し行う内に、理屈と、器具の持つ個々の本質的役割りが理解できた。ｽﾄｯﾊﾟｰの役割、滑車の役割、Wｽﾄｯﾊﾟｰの役割とわかると、理科の滑車の応用で理解できた。③懸垂下降について懸垂下降のバックアップとして今回はブルージックをとらなかったが、次回はぜひ取って研修したい。全体的に一日が短く、充実しており、あっという間に終わった。次回は、この基本を生かして、実際に人をおぶったりして、引き上げ引き下ろしの訓練をしたいと思う。人数は少なかったけれど、少数の利点が最大限に生かされた救助隊訓練・研修でした。救助隊長はじめ先輩方々お世話になりました。

救 助 隊

第2回救助隊役員会報告――2013.5.30 事務局長尾手利雪
日時・2013 年5 月27 日（月）19:30～21：00 場所・浦和パルコ９階
出席者：柴山利幸、安田秋雄、浅見政人、木阪康弘、谷脇京子、長谷川貞子、小島満、若木由和、尾手利雪 9 名 議題
1．2013 年度の役員体制、今後の方針について
徳重隊長の逝去に伴い、今期は柴山副隊長を中心に水谷氏、浅見氏がサポートして活動していく。
2．5月12日（日）救助隊訓練山行の報告
場所：妙義ロックガ-デン9：00～15：30
参加者：徳重隊長、安田秋雄、久保典子、羽竜、渡辺敦司、尾手利雪
新人3 名が参加しているので基礎的な訓練
訓練内容：・ロープワーク ムンターヒッチ、クローブヒッチ、バタフライノット、ラビット等
・ハーケン打ち 効き具合の確認 ・1/3 での引上げ ・懸垂下降
参加報告を久保さんより（下記）
3．故徳重隊長の葬儀に関して救助隊一同として生花を贈りました。
4．今後の日程 6月10日（月）役員会浦和パルコ9Ｆ19:30~
7月8日（月）沢技術学習会浦和パルコ10Ｆ 4 号室19:30~
7月21日（日）沢搬出訓練場所：秩父・荒川流域橋立川本谷

2013年度 第3回救助隊役員会報告 2013.6.30 事務局長 尾手利雪
日時・2013年6月10日（月）19:30～21:00場所・浦和パルコ ９階
出席者 武笠真次、柴山利幸、水谷克明、浅見政人、木阪康弘、谷脇京子、長谷川貞子、小島満、若木由和、尾手利雪10名
議題
1.7月8日（月）沢技術学習会 について（柴山）場所 浦和パルコ10Ｆ 4号室 19:30~
内容 7月21日（日）の沢搬出訓練について説明、参加者により班分け
2.7月21日（日）沢搬出訓練について（柴山）場所：秩父・荒川流域 橋立川本谷
集合場所：
内容：捜索を兼ねた沢搬出訓練、871からの斜面より登山者の捜索、1088からの捜索
参加者：7月8日（月）の沢技術学習会にて
3.第16回遭難防止・安全教育担当者会議について（長谷川、若木、尾手）
日時：6月16日（日）9：00受付 9：30～12：00場所：武蔵浦和コミュニテイセンター8Ｆ 第2会議室
内容：1)事故事例と対策 井芹昌二氏（埼玉県連救助隊顧問）2)千葉県連よりのヒヤリハットの事例をもとに討論
4.その他
1）日程変更 10/19,20のセルフレスキュー→10/26,27に変更 2）一隊員よりの提言についての討論
次回9月5日（木）浦和パルコ9Ｆ19:30～
追記
7月21（日）の沢搬出訓練が大宮労山での故徳重博文氏をしのぶ会と重なっている為
7月20（土）に変更したいと思っていますが7月8日の沢搬出訓練学習会で詳細を決定しお知らせいたします。

加盟団体活動報告

新座山の会

新座山の会20年記念登山第2弾
マレーシア半島　キナバル山

新座山の会　嶋田　好枝記

今回のキナバル山登山は、昨年5月の第1弾、「韓国の山　ハルラ山、チリ山」に続く20年記念登山第2弾として実行されました。行ったのは14人（男5人、女9人）でした。

期日　　2013年2月8日（金）～2月12日（火）

2月8日（金）

成田空港で14人揃い、マレーシアのクアラルンプールに向けて10時30分に出発しました。クアラルンプールで乗り換え、コタキナバルに着いたのは21時50分ごろでした。現地ガイドのジェリーさんに出迎えてもらい、ホテル「シャングリラ」に着き、眠りました。

2月9日（土）

　朝食を済ませてバスに乗り込み、パークヘッドクォーターに着き手続きを済ませ、入山許可のIDカードをもらいました。ここで登山ガイド2人とポーター数名と合流しました。ポーターの中には、17歳のかわいい少女もいました。ワゴン車に乗り換えて、パワーステーション登山口（1800m）に着きました。ここから登山が始まりました。朝から曇りだったのですが、登りはじめたら雨になり、カッパを着て傘をさして歩きました。この日はラバランタ小屋（3300m）まで歩きましたが、途中シェルターというトイレ付の休憩所があり、そこで休憩したり食事をしたりしました。登山道のわきに、ウツボカズラという食虫植物がいくつも見られました。熱帯雨林のジャングルの中をゆっくり（プランプラン）と登りました。小屋に着いたのは16時20分でした。6時間40分の歩行時間でした。食事をして早目に休みましたが、夜中に大雨が降り、登頂できるのか気になりながら眠りました。・・続く



雨の中、歩き始めました。



ウツボカズラ



朝焼けのサウスピーク



頂上を目指して登ります。

・・続き

2月10日（日）
朝1時半に起床しました。夜中の大雨が嘘のように満天の星空に変わっていました。ヘッドランプをつけて、2時45分に出発しました。登山者のヘッドランプの光の列が長く続いていました。ガイドの話では、200名ぐらいが登っているとのことでした。夜空に南十字星が輝いていました。熱帯雨林を過ぎると、花崗岩の岩盤にロープが張ってあり、足元に気をつけながら登りました。最後の休憩場所のサヤサヤヒュッテに5時に着きました。ここでIDカードを見せて頂上に向かいました。荒涼としたごつごつした岩盤をロープを辿りながら背中に朝の光を受けて頂を目指しました。左手前にサウスピークが朝焼けに染まり、素晴らしい光景が広がっていました。真っ青な空をバックにロウズピーク（4095ｍ）の頂上を目指して登り、7時30分に登頂しました。頂上は狭いので急いで写真を撮り、少し下りたところで記念写真を撮りました。どの顔も満足そうでした。雄大な眺めを堪能してから、下山を始めました。パークヘッドクォーターに着いたのは、17時でした。9時間の下山は、さすがに長くて寝不足もあり大変でした。レストランで夕食を取り、同じホテル「シャングリラ」でゆっくりと休みました。
2月11日（月）
　オプションのマヌカン島に行く人とコタキナバルの散策をする人に分かれて行動しました。私たちはマヌカン島にボートで行き、南国の海辺で貝を拾ったり、魚を見たり、シュノーケリングをしたりして楽しみました。お昼は海鮮バーベキューでした。ビールがおいしかったです。コタキナバル19時15分発の飛行機に乗りました。
2月12日（火）
成田空港に朝7時に到着し、キナバル山登山が無事に終了しました。



頂上に着きました。


ロープを頼りに下ります。

第46期第１回評議会が開催されました。

第1回評議会
6/16(日)浦和コミュニティセンター（浦和駅東口パルコ９F）　13時30分受付　14時開始
今回の評議会では決議事項はありません。会の現状を話して頂き、知り5年・１０年先の展望を持つ機会となればと思う。若い層をいかに獲得する工夫が各会に求められる。高齢化に備えみんなで考えよう！



○各会の会員加入状況
新座山の会：会員は６５名（昨年１０名贈）、ホームページ・市民広報で４名増加、１０年後山の会の存続を考えると若年層の入会を望む。例会出席率は会員の７割。
大宮勤労者山岳会：会員は６７名（２０代、３０代が１０名増）ネットやクライミングジムでの出会いで入会、山の選定は岩、沢、雪山のそれぞれを見分ける。



上福岡ハイキングクラブ山なみ：会員は３２名、入会状況は４名の入会で２名減（６０歳代）があった。北本山の会：会員は２２名（男性１３名、女性９名）入会した会員は山経験者３名入会で３名減があった。４０歳代２名以外は６３～６５歳、山行形態はハイキング。
飯能勤労者山岳会：会員は２２名（男性２０名、女性２名）、入会状況はネットで１名、クライミング３名＋１名（６５歳程）で岩、登山学校の入会あり。危機管理的な所が曖昧であった、基本的なことを考えていかなければならない。
富士見峠山の会：会員は３２名（2/3女性、1/3男性で６０歳代後半）、公開ハイク実施で入会を募る。
三郷山の会：会員は４１名、女性が多い。ホームページを通じて入会、面接をする。年間で５名程増、退会も多い（マイナス傾向）。会運営委員の人手不足でフォロー（状況把握のうえ補足）が必要であった。



わらび山の会：２６名（会のＨＰはないが掲示板で会情報の共有化を図っている、県連ＨＰ会の紹介から２名増）例会に来て雰囲気があうか確認してもらっている。
登攀クラブ岩つばめ：会員は１３名、入会はＨＰ、口コミ、知り合い。活動はオールラウンドに行っている。公開岩トレは５０～６０歳の人は定着しない。
熊谷トレッキング同人：会員は４０名後半を推移し、増減がバランス。ハイキングが年配、山スキーと２分している。仕事の都合で退会する人もいた。
つるばみ山岳会：会員は最近３名増となった。会員が遠くの人が多い。会運営は２名で仕切っている。
パルブランチ：会員は６名（２０歳代２名、３０歳代３名、４０歳代１名）。会を２年前に作り、会員の増減が激しい。山行は残雪、沢登り等「せめる山より楽しむ山を」めざしている。
彩の山友会：会員は６名。会は3/10発足。会員年齢は４０、５０、～６７歳である。現在組織を固める段階である。スノーボードで活躍できる状況を作る。
〇会員拡大で成功している会の事例
・具体的手法（公募方法、ＨＰの活用例等）　・会で実施している公開ハイク等の有無、終了後の入会状況など
三郷山の会：春６月に行う、実行委員会は皆で行う。リピータが多い、高齢者が多い、参加者の面倒をどう見るかが課題。三郷・吉川は広報掲載は可能。
富士見市峠山の会：リピータが多い、直前に取りやめ人が多い。保険の問題が発生する。参加者募集は公民館だよりを利用して募っている。
大宮勤労者山岳会：年４回実施。秋、ｸﾘｽﾏｽ（手作りｹｰｷ）、新年、花見等に３０名募る。ＨＰに公開ハイクの知らせを掲載している。料金は保険料３０００円、担当者に負担がかからない配慮をする必要あり。公開ハイク一回で１名程度入会あり。会員募集というより会員の楽しみの目的が大きい。市町村の広報に載せられるは良い。地域のつながりの意義はある。公開ハイクで入会する人があまりいなので意義がない。
〇会員減少している会の組織維持の問題・困難・苦労など　また、問題解決のための取り組み事例
熊谷トレッキング同人：平均年齢が上がってきている。山スキーをやる人は会の役員をしない。若者には強制できない。山行に他の観光（温泉）等の要素を含めるようにしている。山以外のハイキング等を行う。
三郷山の会：平日フラットで行く、ネットで集めて行く。
新座山の会：メーリングリストの活用は有効、但しルールを決めなければならない。月２回の会山行を決めている。リーダー部会で年間計画を決めている。花目的の山行など企画。
〇会の役員体制や後継者育成について
新座山の会：会の人数っが少ないと融通がきく。役員の更新制をとっている。車利用の規則は各会にあり。
以上
報告：武笠　理事長